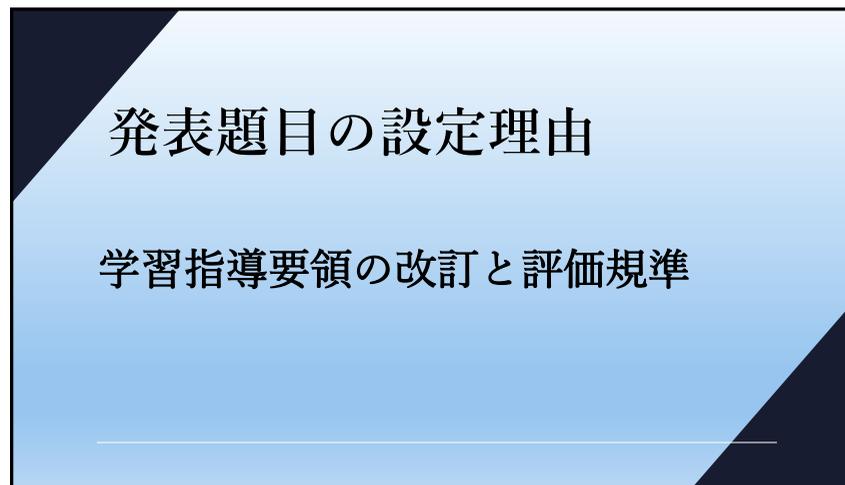
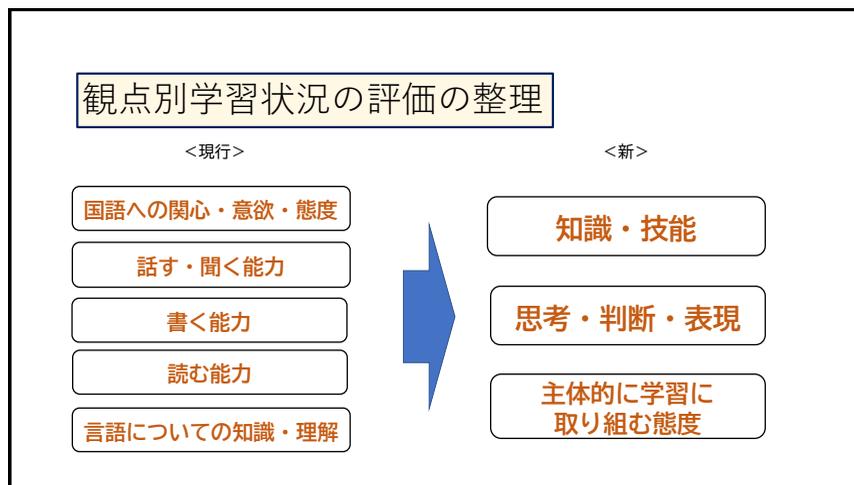




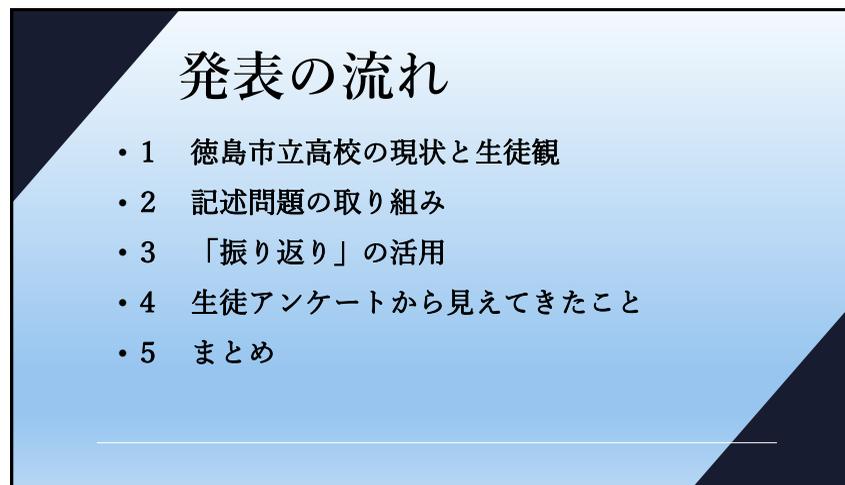
1



2



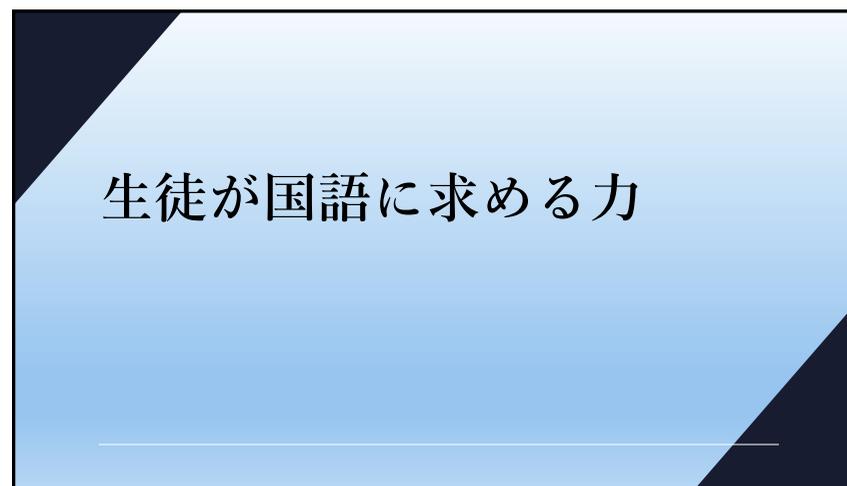
3



4



5



6

「国語力」とは何か？

- 相手に言葉で表現する力
- 物事を多面的に捉える力
- 自分の考えをうまく伝える力
- 他人の気持ちを理解する力
- 適切な言葉を選ぶ力
- 作文を書く力
- 文章を整理し、正しく読み取る力

7

「現代文」を通して身につけたい力は？

- 人との関わりの中で活用できる力
- 文章を読んで、知識や教養につなげたい
- 社会に出たとき、物事や自分の考えを説明できるようになりたい

8



## 評価方法の問題点

①添削する時間と労力に教員間で差がある。

②採点基準の統一が難しい。

生徒の相互評価・細かい採点基準の作成  
MetaMojiやTeamsなどを使った提出方法  
ルーブリックの改善

13

## 今後の評価方法の在り方について

担当教員全員で話し合い、評価方法の在り方を統一する。

同じ評価基準・ルーブリックではなく、単元ごとに改善する。

生徒自身による自己評価の扱いを担当教員全員で話し合う。

14

## 振り返りの実践

15

1年

※家※※※  
2022年5月25日

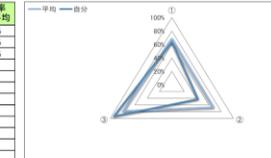
属性1

科目名	満点	得点	平均点	得点率 自分	得点率 全体平均
(国語)1年生 1学期中間考査までの振り返り	115	80	83.3	69.6%	72.4%

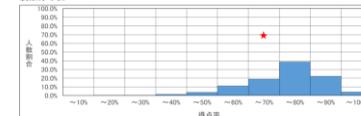
分野別結果

分野名	記点	得点	平均点	得点率 自分	得点率 全体平均
(1) 知識・技能	25	18	17.1	64.0%	68.4%
(2) 思考・判断・表現	40	17	26.9	42.5%	67.4%
(3) 主体的な態度	50	47	39.2	84.0%	78.4%
(4)					
(5)					
(6)					
(7)					
(8)					
(9)					
(10)					
(11)					
(12)					

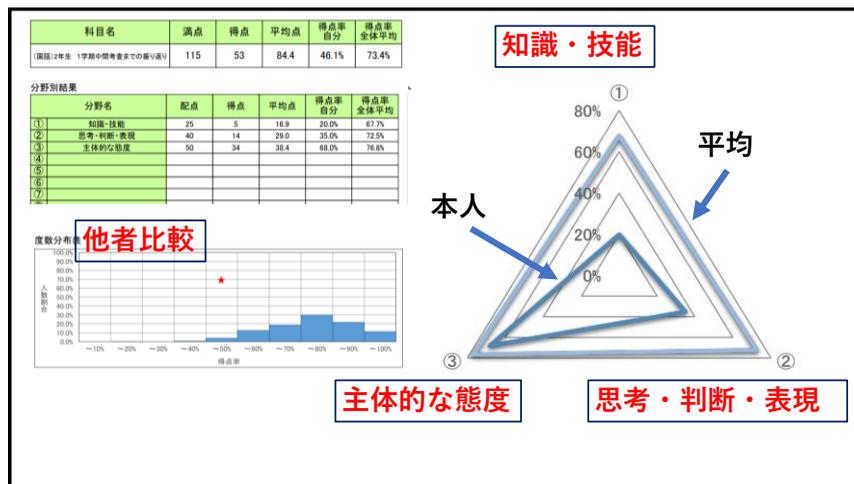
分野別得点率グラフ



度数分布表



16



17

### 振り返りの問題点

- アンケート結果のシートにテストの点をしていない。
- 「振り返る」ことの重要性がなかなか伝わらない。
- 成績上位の生徒は、自己評価も基本的には高く改善点が見つけにくい。
- グラフがわかりにくい。3観点が生徒に伝わりにくい。

18

### 振り返りでの自己評価について

- 自己評価が低い生徒や、自己評価が難しい生徒がいる。
- 自己評価は、生徒の実態に沿っていないことも多い。
- 授業の時間数や時間割によって、実施できないこともある。

19

### 生徒アンケート

- ・評価してほしい点

20

## 「知識」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①漢字の小テスト
- ②語句の意味の小テスト
- ③宿題の提出率

2年

- ①語句の意味の小テスト
- ②漢字の小テスト
- ③授業中の記述問題の評価

21

## 「思考力・表現力」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①授業中の記述問題の評価
- ②要約文の評価
- ③作文の評価  
記述問題に取り組む態度

2年

- ①授業中の記述問題の評価
- ②要約文の評価
- ③ペアやグループワーク  
の教え合いの態度

22

## 「自ら取り組む態度」を何で評価してほしいですか？

1年

- ①授業中の態度
- ②宿題の提出回数
- ③記述問題に取り組む  
態度

2年

- ①授業中の態度
- ②記述問題に取り組む  
態度
- ③宿題の提出回数

23

まとめ

24

### 「観点別評価」実践の気づき

「評価の記録」を残すことによる負担増。

「評価」に対する学校や教員間での考え方の違い。

「自己評価」の扱い

参考 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』国立教育政策研究所

図1年次計画・マネジメントの一環としての指導と評価  
「主体的・対話的で深い学び」の観点からの授業改善と評価

25

### 評価の方法を話し合い、改善していく

何のために だれがだれを

いつ どのような方法で 何を評価するのか？

話し合いの充実 目的・方法の明確化

26

教員の負担 評価の不明瞭さ

話し合いの充実 目的・方法の明確化

生徒の学習改善 学力の向上

27

終わります。  
ご清聴ありがとうございました。

28